

## 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年46週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
  - 男女別
  - 推移グラフ
  - 保健所別
  - 保健所別(定点当たり)
  - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
  - 週別検出状況
  - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「アメーバ赤痢」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2005年46週》

### (全数把握対象疾患)

- ・今週報告があったツツガムシ病の症例は自宅周辺で畑仕事を行っていた。
- ・今週レプトスピラ症が2件報告された。感染症法に指定された2003年11月以降、東京都では合計6件報告されており、そのうち4件が国内感染事例である。

区分	疾患	報告件数	情報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	2	ソネ菌	ウズベキスタン、ベトナム
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	O157 VT2	不明
四類	E型肝炎	1	推定感染経路: 飲食等による経口感染	ネパール
	ツツガムシ病	1	左上肢前腕部に刺し口	国内
	デング熱	2		フィリピン、インド
	マラリア	2	熱帯熱	ガーナ・セネガル・シエラレオネ・ガンビア・トーゴ、ナイジェリア
	レジオネラ症	2	推定感染経路: その他1件、不明1件	国内
	レプトスピラ症	2	推定感染経路: ねずみからの感染	国内
五類	アメーバ赤痢	3	推定感染経路: 経口感染1件、不明1件、経口/異性間性的接触1件	国内、マレーシア、インドネシア(バリ島)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	孤発性 ほぼ確実 臨床決定 推定感染経路: 不明	不明
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	推定感染経路: 不明	国内
	HIV感染症	6	無症候性キャリア4件、AIDS1件、その他1件 推定感染経路: 異性間性的接触3件、同性間性的接触3件	国内
	ジアルジア症	2	推定感染経路: 経口感染1件、その他1件	国内、カンボジア
	梅毒	2	無症候梅毒1件、晩期顕症梅毒1件 推定感染経路: 異性間性的接触1件、不明1件	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

### (定点把握対象疾患 一小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点一)

- ・RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の増加が顕著である。

### (検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
インフルエンザ	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3(香港)型	遺伝子
インフルエンザ	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3(香港)型	
インフルエンザ	11	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3(香港)型	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
咽頭炎	7M	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
咽頭炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス、アデノウイルス	
咽頭炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
上気道炎	5	咽頭拭い液	EBウイルス、アデノウイルス	
上気道炎	13	咽頭拭い液	アデノウイルス	
急性上気道炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
急性上気道炎	9	咽頭拭い液	ライノウイルス	
急性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
喘息様気管支炎、中耳炎	記載なし	咽頭拭い液	RSウイルス	
喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
熱性痙攣、気管支肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
気管支喘息発作	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
肺炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
川崎病	10M	糞便	エンテロウイルス	
流行性耳下腺炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
副鼻腔炎	3	咽頭拭い液	EBウイルス	
流行性角結膜炎	4	結膜拭い液	アデノウイルス	
発熱	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
高熱	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
発熱	2M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
熱性けいれん	2	糞便	ノロウイルス	
熱性けいれん	11M	咽頭拭い液	ライノウイルス、アデノウイルス	
急性胃腸炎	1	糞便	エンテロウイルス、ノロウイルス	
胃腸炎	1	直腸拭い液	エンテロウイルス、ノロウイルス	
急性胃腸炎	2	糞便	アデノウイルス、ノロウイルス	
急性胃腸炎	7	咽頭拭い液	アデノウイルス	
急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
急性胃腸炎	15	糞便	ノロウイルス	
感染性胃腸炎	13	糞便	ノロウイルス	
感染性胃腸炎	11M	糞便	エンテロウイルス、ノロウイルス	
感染性胃腸炎	25	糞便	ノロウイルス	
感染性胃腸炎	27	糞便	ノロウイルス	
嘔吐症	1	糞便	ノロウイルス	
感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス A群ロタウイルス	
川崎病	1	咽頭拭い液	アデノウイルス2型	抗体
流行性角結膜炎	37	結膜拭い液	アデノウイルス3型	* 分離
急性咽頭炎 胃腸炎	5	糞便	アデノウイルス3型	

\* 遺伝子検査で報告済みの検体を含む。

腸管出血性大腸菌 菌株検査情報

血清型	産生毒素			合計
	VT1	VT2	VT1・VT2	
O157		2		2

**定点医療機関からのコメント**

今週は、定点医療機関からのコメントはありませんでした。

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2005年46週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ	1				10		47
	細菌性赤痢		2	1	2	84	5	509
	ジフテリア							
	腸チフス					11		45
	パラチフス					4		16
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	1	1	230	50	3364
四類	E型肝炎				1	8	( )	( 37 )
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		1		21	( 3 )	( 156 )
	エキノコックス症					1		15
	黄熱							
	オウム病			1		3		31
	回帰熱							
	Q熱					3		8
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							3
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病				1	4	13	163
	デング熱		2	1	2	27	2	69
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	60
	日本脳炎							6
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症					1		1	
発しんチフス								
ボツリヌス症					1	( )	( 2 )	
マラリア	2			2	20		63	
野兔症								
ライム病					4		7	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症		3		2	22	5	243	
レプトスピラ症				2	3	( 1 )	( 11 )	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	7	2	3	168	6	618
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)					32	3	256
	急性脳炎					14	( 1 )	( 162 )
	クリプトスポリジウム症					1		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	15	3	138
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1	1	5		51
	後天性免疫不全症候群	7	7	5	6	373	8	1024
	ジアルジア症			1	2	12	4	71
	髄膜炎菌性髄膜炎					3		10
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	5	7	7	2	86	5	474
	破傷風					1	2	100
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					11		59

2005/11/29集計

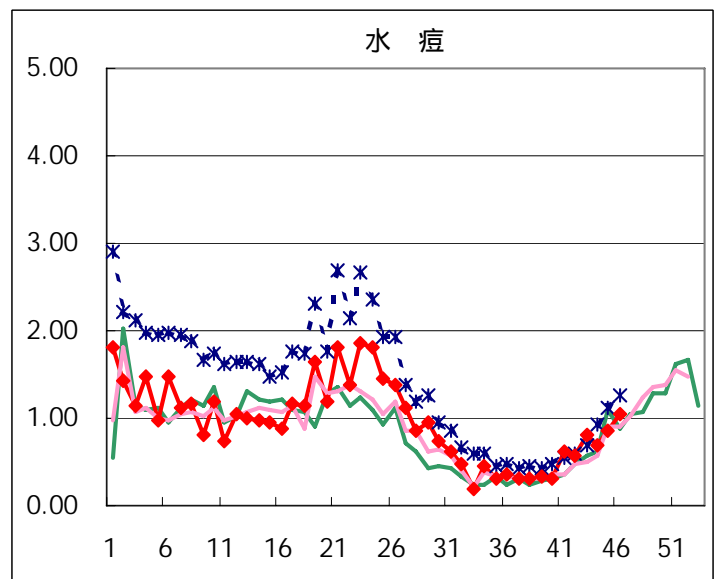
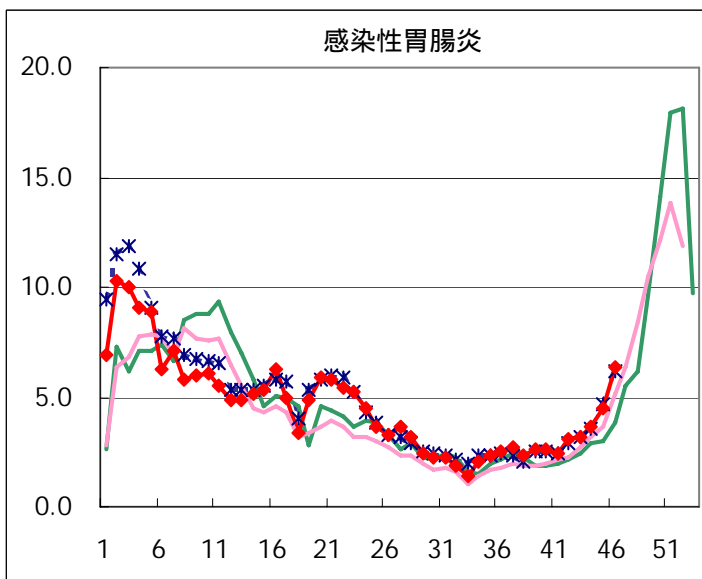
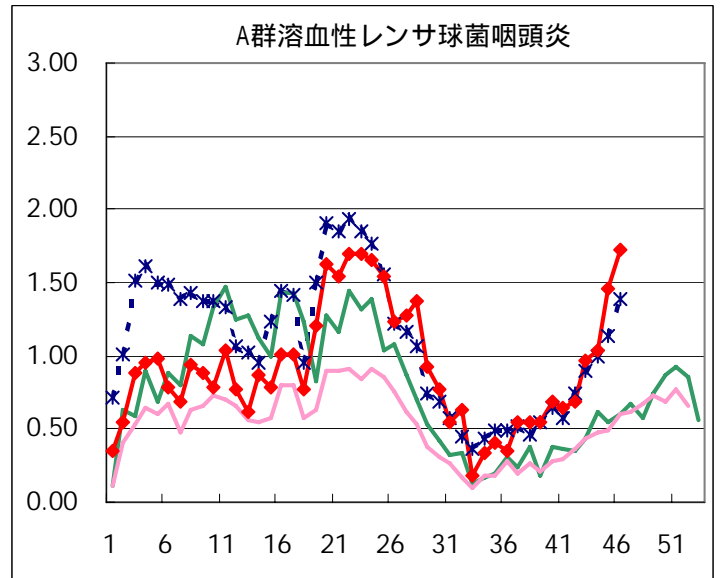
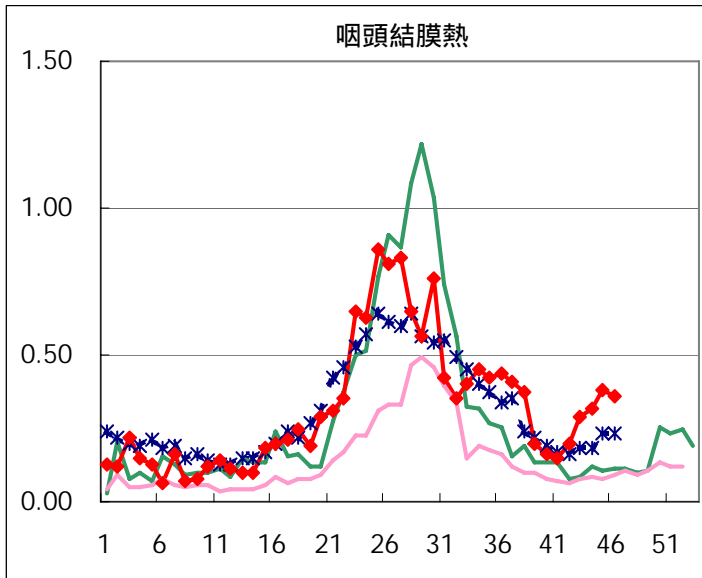
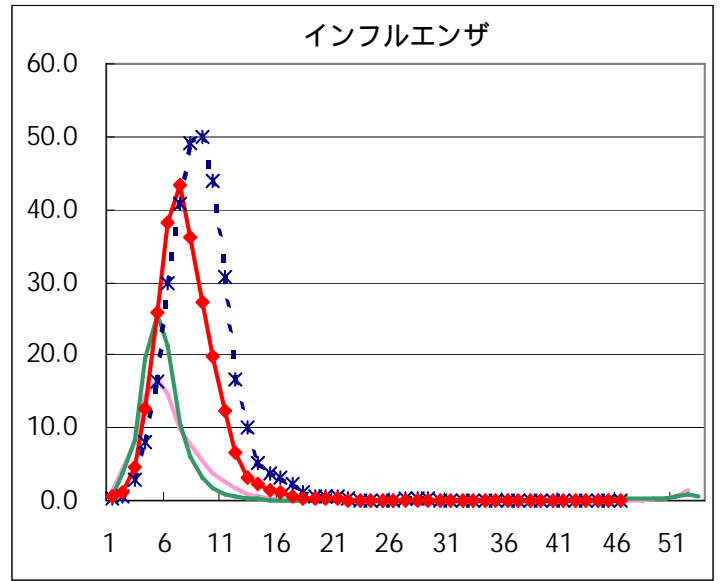
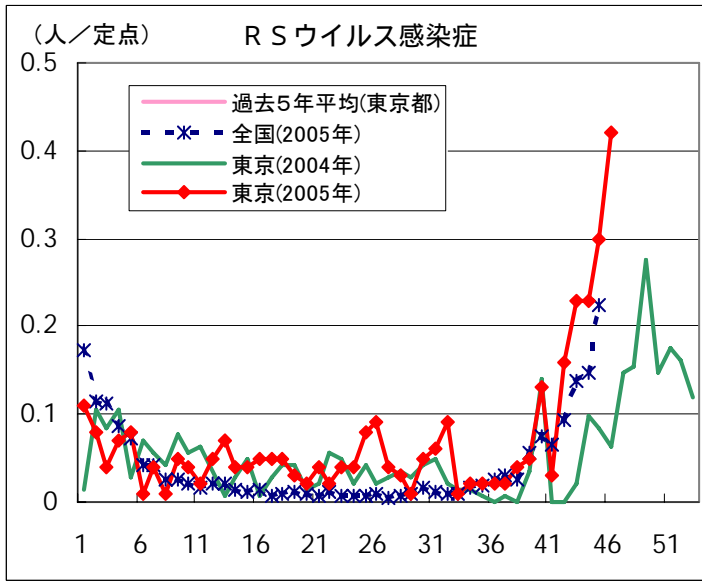
(カッコ内の数値は44週分)

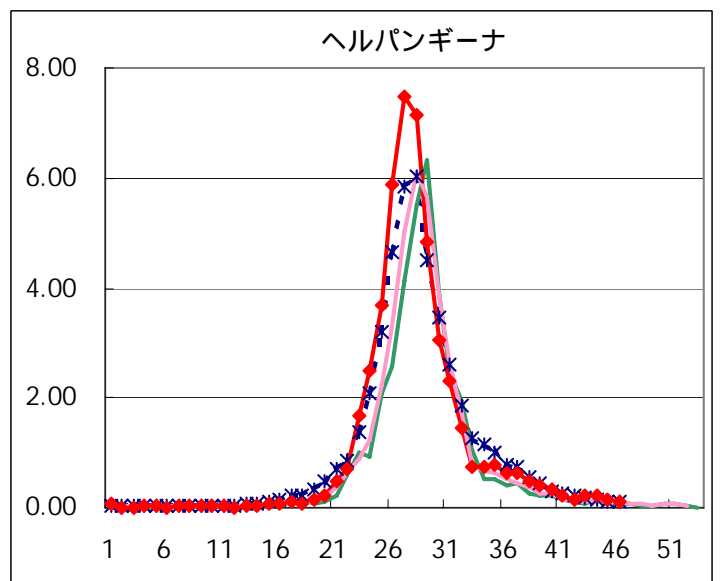
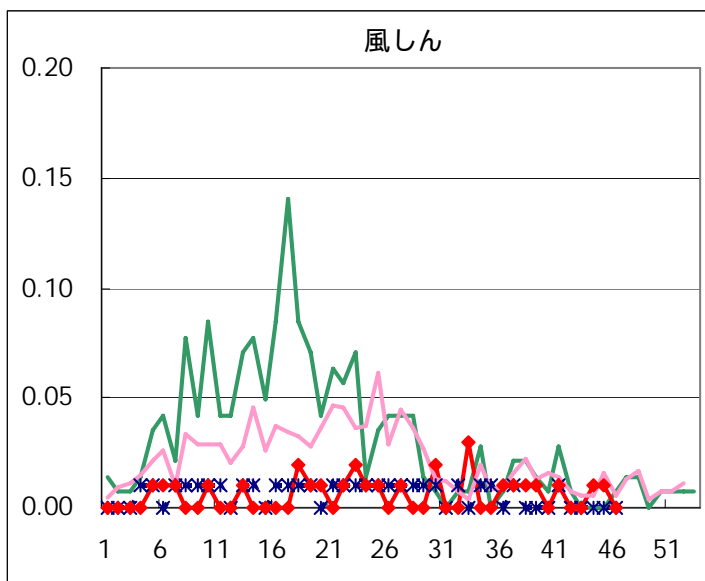
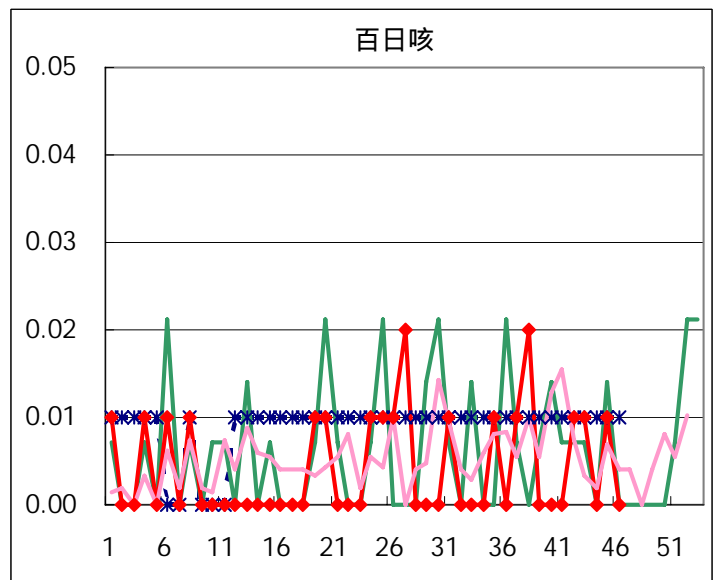
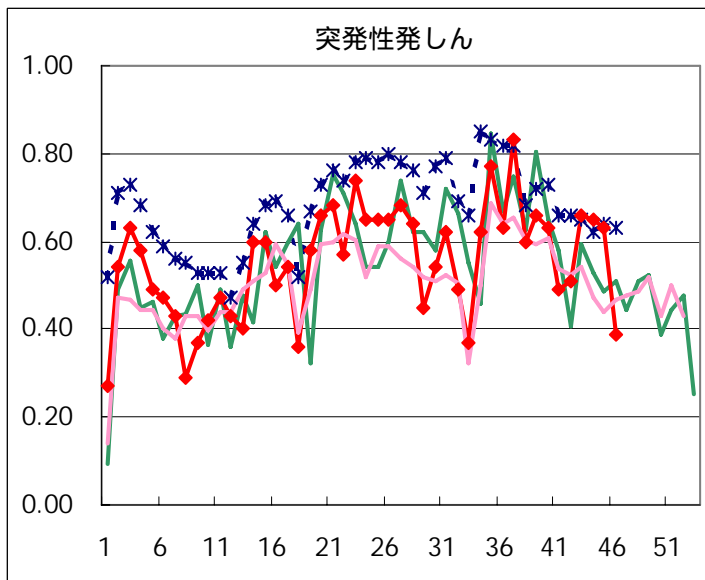
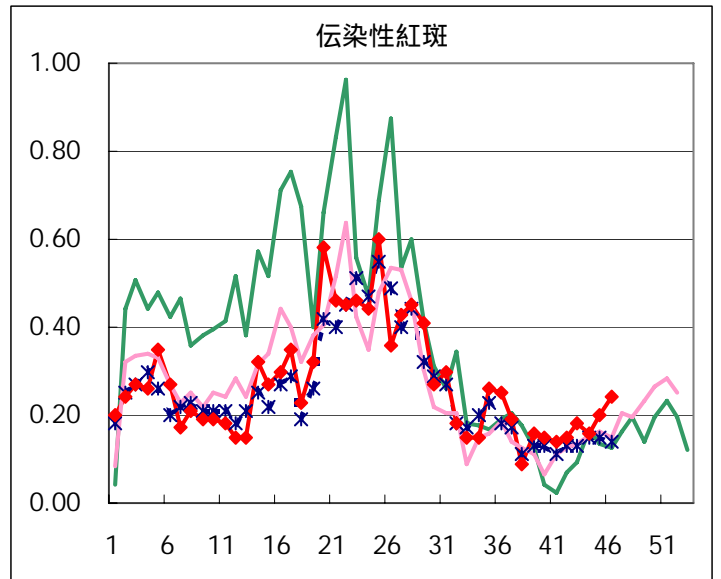
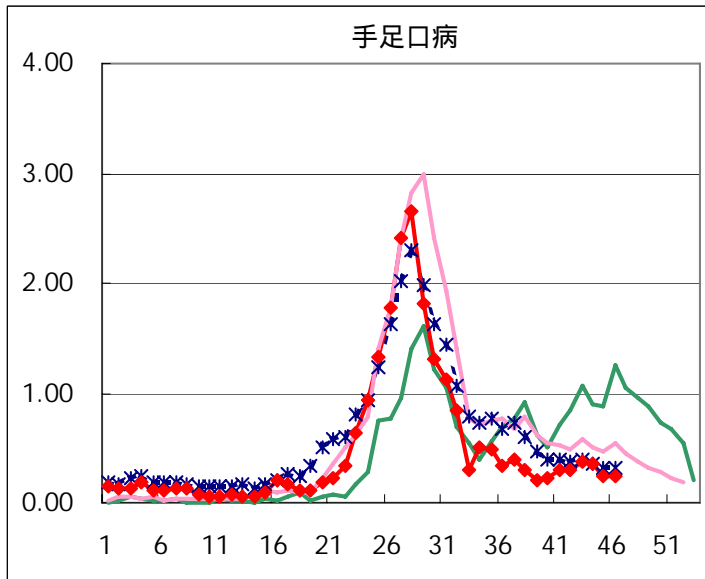
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年46週

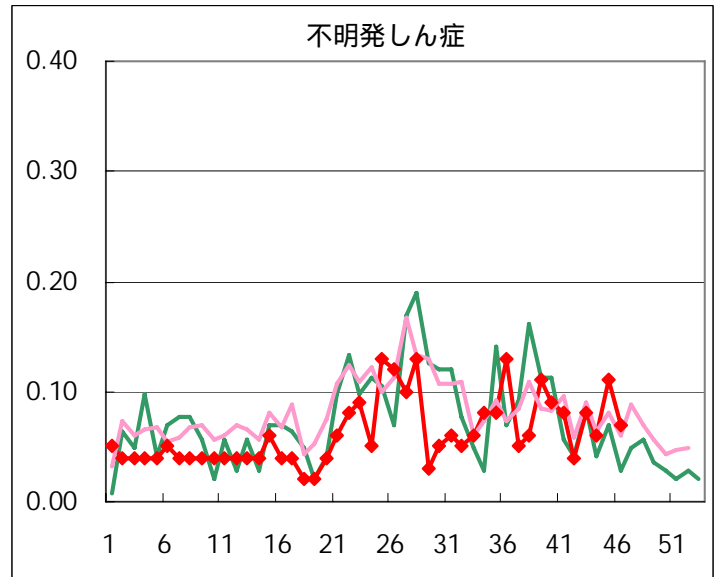
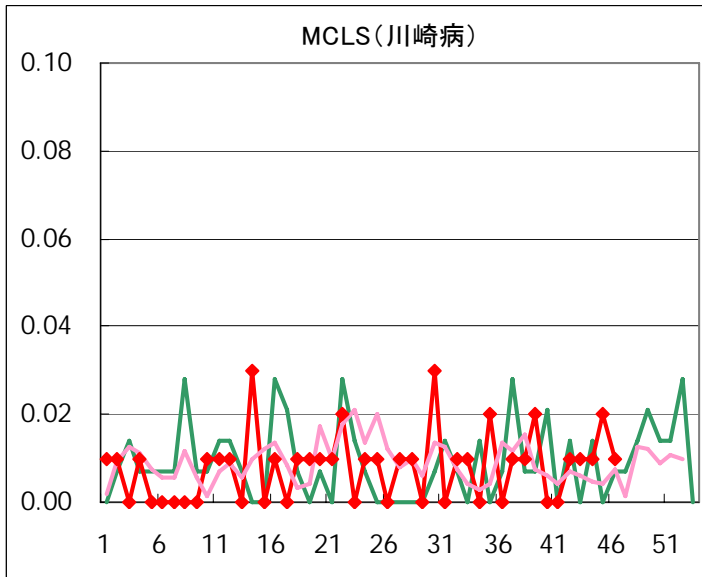
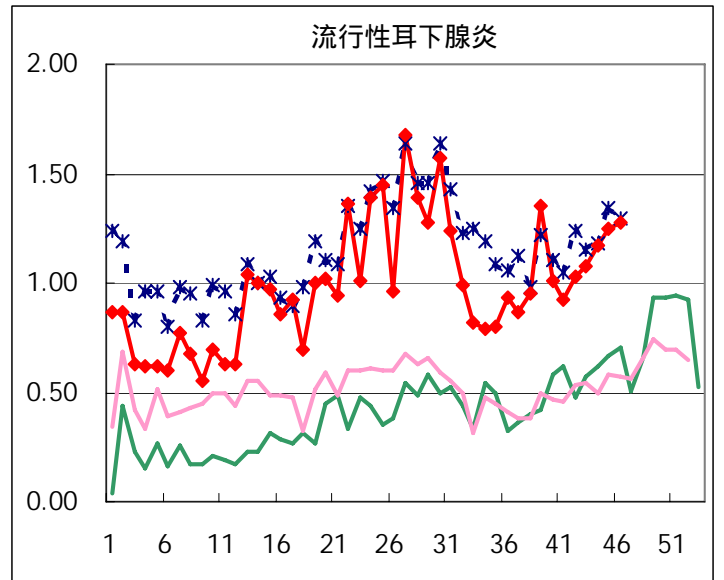
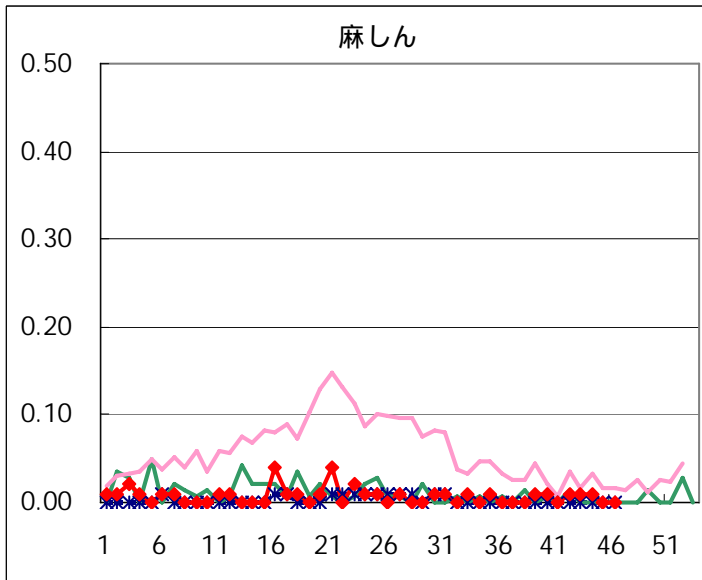
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		43	44	45	46		
RSウイルス感染症	男	20	19	20	34	93	258
	女	13	13	23	26	75	202
インフルエンザ	男	1	1	3	15	20	21,025
	女	1	1	2	10	14	21,399
咽頭結膜熱	男	20	25	29	29	103	1,155
	女	21	20	25	22	88	937
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	69	82	118	124	393	3,289
	女	69	66	90	121	346	2,739
感染性胃腸炎	男	253	252	333	468	1,306	15,709
	女	204	264	305	435	1,208	14,492
水痘	男	59	49	65	76	249	3,377
	女	54	49	55	72	230	3,019
手足口病	男	28	29	24	19	100	1,765
	女	25	22	12	15	74	1,405
伝染性紅斑	男	7	7	11	13	38	847
	女	18	16	18	21	73	929
突発性発しん	男	44	46	48	32	170	1,860
	女	50	47	41	23	161	1,753
百日咳	男	1		1		2	16
	女						9
風しん	男						12
	女		1	1		2	25
ヘルパンギーナ	男	13	12	10	6	41	3,540
	女	17	19	10	13	59	3,307
麻しん(成人麻しんを除く)	男		1			1	19
	女	1	1			2	28
流行性耳下腺炎	男	76	94	92	106	368	3,477
	女	77	72	86	76	311	2,944
不明発しん症	男	4	4	9	3	20	227
	女	8	4	6	7	25	172
MCLS	男	1	2	3		6	32
	女	1			1	2	19
急性出血性結膜炎	男						5
	女						2
流行性角結膜炎	男	4	4	3	6	17	283
	女	7	2	7	5	21	233
細菌性髄膜炎	男			1	1	2	6
	女	1		1		2	8
無菌性髄膜炎	男	1				1	18
	女						8
マイコプラズマ肺炎	男	2		6	3	11	72
	女	4	3	4	4	15	70
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男			1		1	3
	女						4
成人麻しん	男						
	女						1

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年46週現在

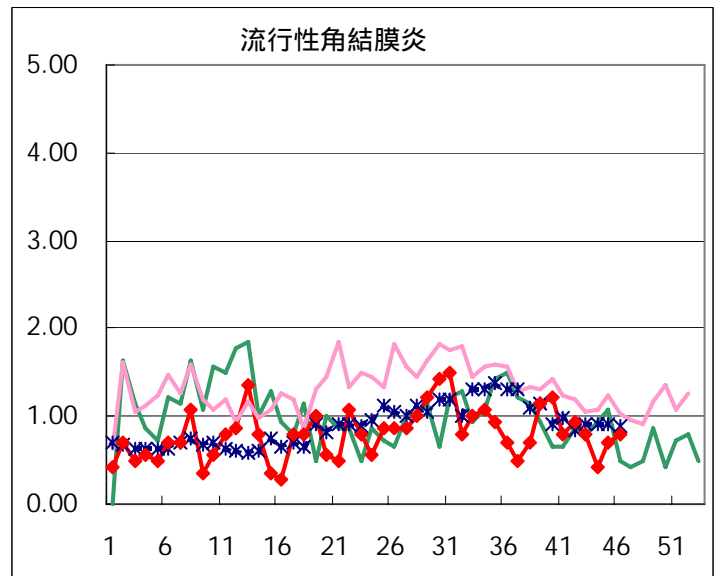
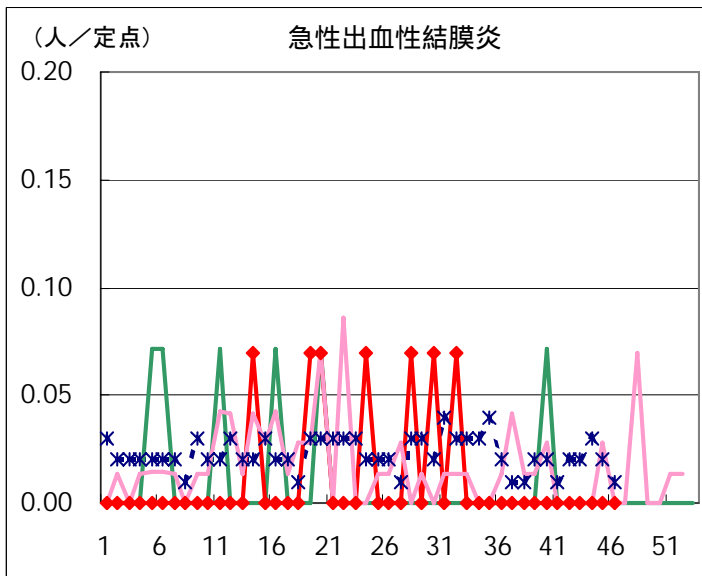
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





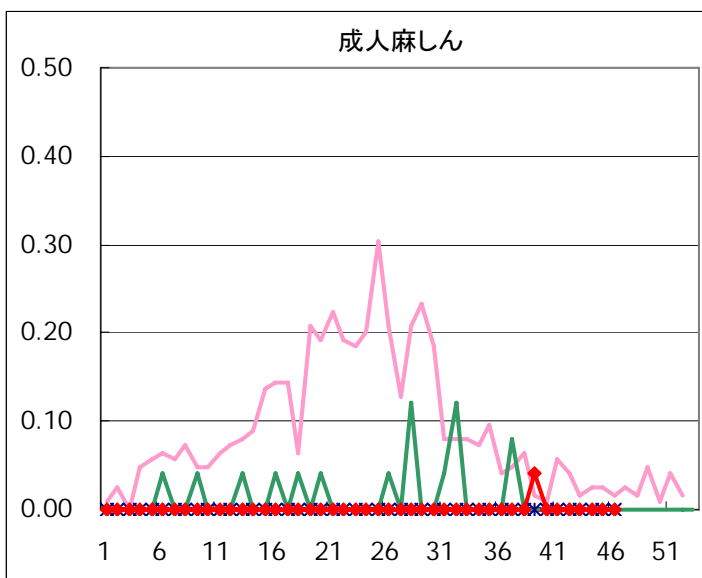
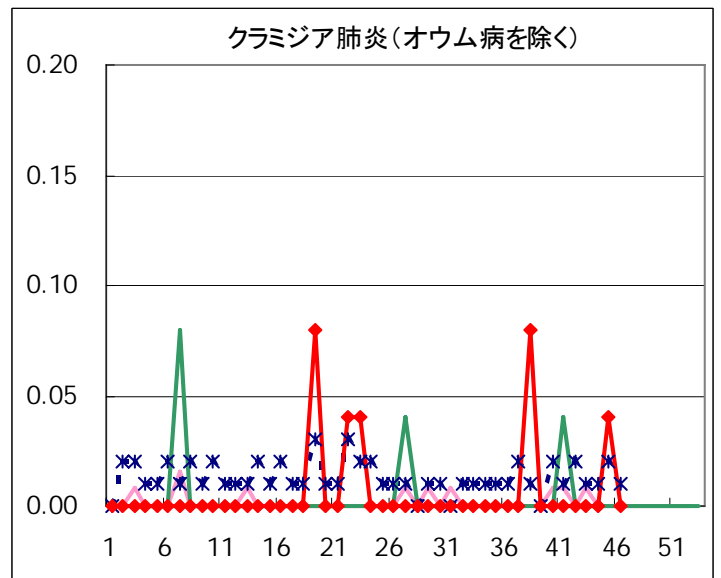
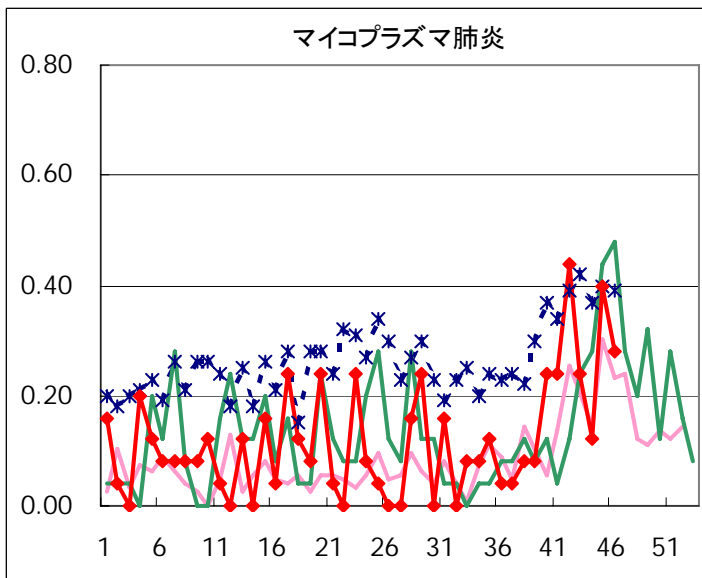
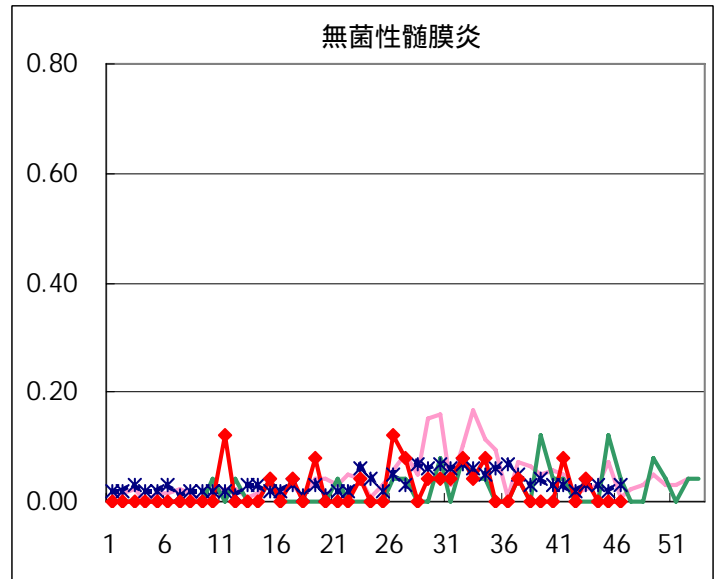
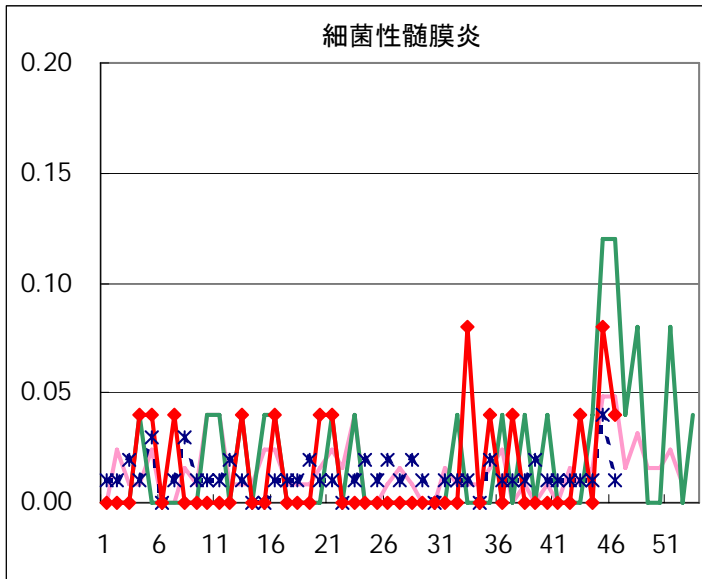


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年46週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田				1	2	2				
中央区				2	11	1		1	3	
みなと	4		3	16	35	5		2	2	
新宿区				3	25	1			2	
文京	2				11	3			1	
台東				9	32	4	2	1	2	
墨田区	3			6	28	2	1	1	2	
江東区				3	73	6			1	
品川区			5	5	59	3		2		
目黒区				4	14	1	1		1	
大田区	1		2	26	89	15	7	3	4	
世田谷				9	54	5	1	4	1	
渋谷区			1	4	37	3	1			
中野区	1			2	14	4	1	3	1	
杉並	4			9	83	17		2	4	
池袋					6	4	1		1	
北区		3		4	4	8		1	2	
荒川区			3	7	17	16	2	1	2	
板橋区				2	26	1		2	1	
練馬区			1	7	24	6	1		1	
足立	1			3	24		2	1	1	
葛飾区		6		9	18	4	2	2	3	
江戸川	1	9	16	51	41	7		1	2	
西多摩			7	7	41	2	1	1	3	
八王子	2	3		11	8	10	1	1	2	
南多摩	10			1	20		3	1	1	
町田			1	17	14	5		1	1	
多摩立川		4		3	12	1			1	
多摩府中				12	35	9	3	3	6	
多摩小平	31		12	12	43	3	4		4	
島しょ					3					

東京都合計	60	25	51	245	903	148	34	34	55	-
定点当り報告数	0.42	0.14	0.36	1.73	6.36	1.04	0.24	0.24	0.39	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年46週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田		1		7					13
中央区				7					25
みなと				1		2	1		71
新宿区				12		1		1	45
文京				4		4			25
台東									50
墨田区				8			1		52
江東区				16		2			101
品川区				6			1		81
目黒区				1					22
大田区		6		28			2		183
世田谷				5					79
渋谷区									46
中野区				5					31
杉並				13					132
池袋				3					15
北区		1		8					31
荒川区		2		1					51
板橋区				4					36
練馬区				6			1		47
足立									32
葛飾区		2		8			1		55
江戸川		2		5					135
西多摩				3					65
八王子				3		2	1		44
南多摩		2		6					44
町田		1		7			1		48
多摩立川				3					24
多摩府中				8					76
多摩小平		2		4			1		116
島しょ									3

東京都合計	-	19	-	182	-	11	10	1	1,778
定点当り報告数	-	0.13	-	1.28	-	0.79	0.07	0.01	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年46週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田				0.25	0.50	0.50				
中央区				0.67	3.67	0.33		0.33	1.00	
みなと	0.67		0.50	2.67	5.83	0.83		0.33	0.33	
新宿区				0.50	4.17	0.17			0.33	
文京	0.67				3.67	1.00			0.33	
台東				3.00	10.67	1.33	0.67	0.33	0.67	
墨田区	1.00			2.00	9.33	0.67	0.33	0.33	0.67	
江東区				1.00	24.33	2.00			0.33	
品川区			0.83	0.83	9.83	0.50		0.33		
目黒区				1.33	4.67	0.33	0.33		0.33	
大田区	0.11		0.22	2.89	9.89	1.67	0.78	0.33	0.44	
世田谷				1.13	6.75	0.63	0.13	0.50	0.13	
渋谷区			0.25	1.00	9.25	0.75	0.25			
中野区	0.17			0.33	2.33	0.67	0.17	0.50	0.17	
杉並	0.67			1.50	13.83	2.83		0.33	0.67	
池袋					1.20	0.80	0.20		0.20	
北区		0.60		1.00	1.00	2.00		0.25	0.50	
荒川区			1.50	3.50	8.50	8.00	1.00	0.50	1.00	
板橋区				0.33	4.33	0.17		0.33	0.17	
練馬区			0.20	1.40	4.80	1.20	0.20		0.20	
足立	0.25			0.75	6.00		0.50	0.25	0.25	
葛飾区		1.20		2.25	4.50	1.00	0.50	0.50	0.75	
江戸川	0.25	1.80	4.00	12.75	10.25	1.75		0.25	0.50	
西多摩			1.40	1.40	8.20	0.40	0.20	0.20	0.60	
八王子	1.00	1.00		5.50	4.00	5.00	0.50	0.50	1.00	
南多摩	3.33			0.33	6.67		1.00	0.33	0.33	
町田			0.50	8.50	7.00	2.50		0.50	0.50	
多摩立川		0.50		0.50	2.00	0.17			0.17	
多摩府中				1.20	3.50	0.90	0.30	0.30	0.60	
多摩小平	5.17		2.00	2.00	7.17	0.50	0.67		0.67	
島しょ					3.00					

東京都合計	60	25	51	245	903	148	34	34	55	-
定点当り報告数	0.42	0.14	0.36	1.73	6.36	1.04	0.24	0.24	0.39	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年46週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田		0.25		1.75				
中央区				2.33				
みなと				0.17		2.00	0.17	
新宿区				2.00		0.50		0.17
文京				1.33		4.00		
台東								
墨田区				2.67			0.33	
江東区				5.33		2.00		
品川区				1.00			0.17	
目黒区				0.33				
大田区		0.67		3.11			0.22	
世田谷				0.63				
渋谷区								
中野区				0.83				
杉並				2.17				
池袋				0.60				
北区		0.25		2.00				
荒川区		1.00		0.50				
板橋区				0.67				
練馬区				1.20			0.20	
足立								
葛飾区		0.50		2.00			0.25	
江戸川		0.50		1.25				
西多摩				0.60				
八王子				1.50		2.00	0.50	
南多摩		0.67		2.00				
町田		0.50		3.50			0.50	
多摩立川				0.50				
多摩府中				0.80				
多摩小平		0.33		0.67			0.17	
島しょ								

東京都合計	-	19	-	182	-	11	10	1
定点当り報告数	-	0.13	-	1.28	-	0.79	0.07	0.01

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年46週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	4				7	7			2
～1歳	12		2	1	43	13	2	3	26
1歳	17		6		109	15	12	3	23
2歳	9	2	8	4	81	22	4	4	4
3歳	8	3	6	20	91	20	5	3	
4歳	2	2	6	31	90	28	6	3	
5歳	4		6	35	72	21	2	4	
6歳			10	29	80	9	2	7	
7歳		1	4	53	54	4		2	
8歳			1	28	42	3	1	1	
9歳		1		13	31	2		1	
10～14歳		6		15	59	2		2	
15～19歳		1		2	16				
20～29歳	4	1	2	14	128	2		1	
30～39歳		2							
40～49歳		1							
50～59歳		1							
60～69歳									
70～79歳		2							
80歳以上		2							
合計	60	25	51	245	903	148	34	34	55
先週比	17	20	-3	37	265	28	-2	5	-34

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月									
～1歳			1					6	
1歳			4		5		1	1	
2歳			3		21				1
3歳			4		25				
4歳			1		36		1	1	
5歳					27				
6歳			2		21		1	1	
7歳			1		17		1	1	
8歳					6				
9歳					4				
10～14歳			1		10				
15～19歳					2				
20～29歳			2		8				
30～39歳							4		
40～49歳							1		
50～59歳							1		
60～69歳							1		
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	-	19	-	182	-	11	10	1
先週比	-1	-1	-1	0	4	0	1	-5	-2

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年39週～46週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		39	40	41	42	43	44	45	46	
ウイルス	アデノ	8	13	8	5	21	4	2	21	82
	ライノ	4		2	7	4	4	4	4	29
	ポリオ		1	1			1			3
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群		2	2		1				5
	エコー		1	1	1	3	1	1		8
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	7	9	7	5	12	6	4	7	57
	単純ヘルペス					1				1
	水痘・帯状疱疹		3							3
	ヘルペス6/7		1	2	4	2	4	1		14
	EB	1	1	1			2	2	2	9
	サイトメガロ	4	1			1				6
	ムンプス	1	3		3	2	1	3		13
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19									
	RS	1	2	1	5	8	2	2	4	25
	ノロ	20					1		12	33
	ロタ					1			1	2
	インフルエンザAソ連型									
インフルエンザA香港型								3	3	
インフルエンザB型										
デング						2	1		3	
その他のウイルス			1	1			1		3	
細菌	カンピロバクター		1							1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌	5	12	5	1				2	25
	その他の腸管系病原菌	1		3	2	2				8
	溶血性レンサ球菌	2		2		1	1	5	3	14
	MRSA					2		2	1	5
	MSSA									
	その他の細菌			1						1
その他の病原体		1	1							2

臨床診断名別検出結果 2005年39週～46週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	31	52	95	115	22		3	9				26	15		3		166	
アデノ		20	17	14				7				4	1				19	82
ライノ		5	7	2								4	3				8	29
ポリオ																	3	3
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群		1	1		2												1	5
エコー				1	7													8
エンテロ71																		
その他のエンテロ		12	12	6	4							5	3		1		14	57
単純ヘルペス																	1	1
水痘・帯状疱疹																	3	3
ヘルペス6/7					1							6			1		6	14
EB		3	2														4	9
サイトメガロ		1	1		1												3	6
ムンプス					4								9					13
麻疹																		
風しん																		
パルボB19																		
RS		3	19														3	25
ノロ				31													2	33
ロタ				2														2
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型	3																	3
インフルエンザB型																		
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	25	25
その他の腸管系病原菌																	8	8
溶血性レンサ球菌							2										12	14
その他の病原体		2															12	14
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	



## <感染症豆知識>

### アメーバ赤痢

この疾患の病原体である *Entamoeba histolytica* は広く全世界に分布している。糞便からこの病原体が検出されても多くは臨床症状を示さないが、大腸炎や肝膿瘍で発病することもある。アメーバ赤痢はその大腸炎型である。

この病原体が大腸粘膜に侵入し、緩徐に症状は進行し、下腹部痛や粘血便(イチゴゼリー状)や泥状便を1日数回から十数回起こす。重症例では穿孔性腹膜炎を合併することがある。好発部位は回盲部、上向結腸、直腸およびS状結腸である。また、免疫障害のある患者では、栄養体が経門脈で肝臓内に入り、肝膿瘍を作り、発熱・疼痛などの症状を起こす危険が高い。また、肺・脳・脾臓にも膿瘍を作ることがあるので注意が必要である。

診断は便中の病原体検出が主で、その他に抗体値の上昇、内視鏡所見が有力である。治療は metronidazole(1.5～2.0g/日、10日間)が使われ、残存する嚢子に対しては diloxanide または paromomicin で駆除する。(注: diloxanide および paromomicin は、日本では未承認薬剤であり、ヒューマンサイエンス総合研究事業「熱帯病・寄生虫病に対する希少疾病治療薬の輸入・保管・治療体制の開発研究」班より入手ができる)

この疾患は嚢子に汚染された食べ物や水を経口摂取して感染するが、最近は嚢子を排出する人との肛門 - 口性交による感染が多く見られ、性感染症のひとつと位置づけられるようになった。特に同性間性的接触の男性に見られ、HIV 感染で免疫不全がある場合にこの疾患が発症することが知られている。

(文責 根岸昌功)